

荒茶工場激励訪問について

1 概要

市では、平成 18 年 4 月に「牧之原市のお茶安全安心取組宣言」をし、生産農家、製茶工場、指導機関が一体となって取り組んでいる。

この取組の一環として、本年も引き続き、良質で安全・安心なお茶の生産と農作業事故の防止を徹底するため、一番茶生産時期に市内の全荒茶製茶工場 189 工場を市長、副市長、産業経済部長及び J A ハイナン常務の 4 班体制で激励訪問する。

併せて、茶店舗も訪問し、新茶の活発な取引に向けた激励を実施する。

2 期間

平成 27 年 4 月 22 日（水）から 4 月 27 日（月）まで

3 体制

市内の全荒茶製茶工場 189 工場を 4 班体制で訪問する。

	茶工場	茶店舗
西原市長	50 地区	6 店舗
杉本副市長	51 工場	6 店舗
小栗産業経済部長	44 工場	14 店舗
大石 J A ハイナン常務	44 工場	-

4 取材依頼

(1) 日時

平成 27 年 4 月 22 日（水） 午後 1 時

(2) 場所

牧之原丸牧茶農協 代表者 秋山 治幸（アキヤマ ハルユキ）

< 牧之原市東萩間 2113 電話 0548-27-2863 >

(3) 牧之原丸牧茶農協の概要

- ・昭和 51 年茶農協設立
- ・加工対象面積 22ha、組合員数 7 戸、系列農家 7 戸
- ・昨年度の全国茶品評会において、市内出展者のうちでは最高の 2 等 5 席に入賞。関東ブロック茶の共進会においても銀賞に入賞し、品質重視の良質な茶の製造を行っています。茶のユビキタスシステムを導入するなどして、茶問屋と連携した茶園管理を行っています。今年度からは、共同摘採の法人を立ち上げるなど、先進的な取り組みをしている茶工場です。